

啐啄同機

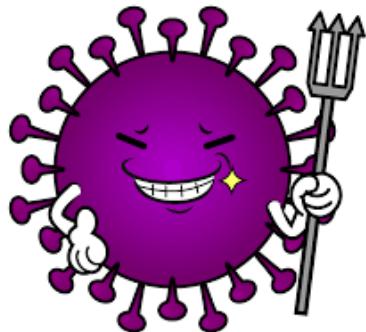


大阪市立榎本小学校
11月19日
NO. 11

今シーズンもやって来た。

それは、例年よりも早くやってきました。目には見えません。誰にも気づかれずに、人の体内に侵入します。侵入と同時に繁殖を始めます。始まってしまうと繁殖を止めるることは難しくなります。1日で、1個が100万個になるほどの驚くべき増殖スピードで増え続けます。

次に体への攻撃が始まります。38度以上の高熱が体を襲います。悪寒、だるさ、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身にその症状が広がります。ほかにも、咳、のどの痛み、めまい、吐き気、腹痛などを引き起こすこともあります。



そうなると、学校には行けない。いや来てはいけない。驚異的な感染力を持ち、人から人へとその影響を及ぼすからです。

体内で戦いが始まります。体を守るために、免疫が間断なく攻撃を続けます。しかし、簡単には倒せません。勝利したと思っても、潜伏して反撃の機会を狙っています。封じ込めには、最低でも5日間が必要になります。

厄介なことに、それは毎年姿を変えてやって来ます。同じ攻撃では倒せない。予防接種も絶対ではないのです。

それとは、「インフルエンザ」のことです。

大人に比べて免疫力の弱い子どもは簡単に感染してしまいます。予防には「えのもと」の4文字を子ども達に意識させてください。

えいようたっぷりおいしい食事

のどのおくまでがらがらうがい

もうすこし早く寝よう

とれたかな手のバイキン



絶対的な予防方法はありません。なるべく人混みを避ける。人の多いところでは、マスクをする。当たり前の予防方法しかありません。

規則正しい生活を送らせてください。罹患してしんどい思いをするのは、他ならぬ子ども本人です。よろしくお願いいいたします。

校長 篠崎 勇